

第1回 津駅東口周辺まちづくり懇話会

～令和6年度の取組～

令和6年10月1日
津市

■ 津駅東口周辺まちづくり懇話会（R5.9.12設立）

設置目的

津駅東口について、地域の抱える課題や将来像について情報共有・意見交換を行い、地域の意見、希望などを津駅周辺道路空間再編検討委員会へ伝えることを目的として設置。

「駅利用者の利便性、快適性の向上」、「賑わいの創出」、「回遊性の向上」、「まちの安全性の維持向上」等について意見交換を行い、魅力あるまちづくりに対する地域の熟度を高める。

令和5年	9月12日	第1回懇話会（設立）
	10月11日～20日	社会実験（栄町公園）
	11月27日	第2回懇話会
	12月22日～23日	実験（津駅東口駅前広場）
令和6年	2月13日	第3回懇話会（意見とりまとめ）

令和5年度の取組②

社会実験(令和5年10月11日～20日)

津駅東口周辺における社会実験(栄町公園)

津駅周辺における歩行者の賑わいや滞留機能の強化に向け課題やニーズを把握することを目的に、栄町公園で賑わいや滞留の意向調査及び可能性調査を実施します。

みなさまのご協力をお願いします。

【期間】令和5年10月11～20日 10～18時

【内容】三重短期大学生のみなさんが考えた津駅の将来像を展示

津駅東口周辺まちづくりに関するアンケート

その他イベント

津ぎょうざ販売



販売日：10月11～20日

甲府名物 とりもつ煮販売



販売日：10月14・15日

ご飯のおかず

ゆるキャラ登場！【日時：10月14・15日 11時・13時・15時】※雨天中止



【場所】栄町公園



【問い合わせ先】

津市建設部建設政策課

TEL 059-229-3179

E-mail 229-3196@city.tsu.lg.jp



アンケート結果(169人回答)

- ・204件の複数回答により、61%(125件)は東口駅前広場に、22%(45件)は西口駅前広場に、**滞留スペース(テーブル、イス)が欲しい**と回答
- ・394件の複数回答により26.1%(103人)がオープンカフェやキッチンカーなどを、25.6%(101人)が**イベントなどの賑わいが津駅周辺に必要**と回答

令和5年度の取組③

実験(12月22日～23日)



共催：津駅東口周辺まちづくり懇話会
特定非営利活動法人津う郷育委員会

協力：三重県 津市

後援：津市観光協会 津駅前ストリート倶楽部

協賛：(株)マツオカ (株)第一ビル 津駅前都市開発(株) (株)ミエデン
渡邊直光 (株)ティー・エス・ケー (株)山川測量設計コンサル
極楽寺
(株)津駅前パーキング (株)センターパレス (株)倉田保険事務所
アリス 大門 英恋人 津夢時風 御麵麦一等兵 小野仏壇店
(株)百五銀行 名古屋ステーション開発(株) 三交不動産(株)
食道園 野村証券(株)



来場者の意見

- ・駅前広場がないので、根本的には東口ロータリーを周辺ビルの建て替えと合わせて作り替え、憩える空間づくりをしてほしい。
- ・学生が手軽に利用出来るようなチェーン(ファーストフード)店が少ない。
- ・待ち合わせなどの際に椅子がない。
- ・たまにしか来ないが、寂しい感じ。何か楽しいイベントをやったら、人が集まると思う。
- ・東西の動線が不便。
- ・津駅前が活気づくとうれしい。
- ・県庁所在地なのに、寂しい。

津駅東口周辺に賑わいや待ち合わせ場所などの滞留空間が不足していることや、駅前空間の再編に対しての期待など、利用者(来場者)から多数の意見

令和5年度の成果

- ・津駅東口の課題や将来像について議論
- ・県道津停車場線及び栄町公園で社会実験を実施（令和5年10月）
- ・津駅東口駅前広場で実験を実施（令5年12月）

社会実験等の結果を踏まえ、懇話会で議論した結果、津駅東口に賑わいや滞留空間が必要であることを確認。

また、津波等の浸水想定地域であるため、東西自由通路など見える形で住民の安全安心につなげてほしい等の意見を取りまとめ

小野委員長より令和6年2月26日開催の津駅周辺道路空間再編検討委員会へ報告

(1) 公共交通の利便性の強化 災害時の対応の強化

- ・交通結節機能の強化
(バス停、タクシー・自家用車乗降場の再構築)
- ・歩行者デッキなどの整備（東口）



<物流にも配慮>

等

(2) 歩行者の賑わいや滞留の強化

- ・駅前通りの歩行空間の拡張
- ・占用の緩和を通じた民間利用の促進



等

津駅周辺道路空間の整備方針 抜粋

本市から国・県への働きかけの取組

■ 知事と市長の円卓会議(R6.3.1)

市長から知事に対し、津駅周辺基盤整備の根幹となる**バスタプロジェクトの必要性や重要性、市民・県民の期待を国に対し強く伝えてほしいと要望**

知事から市長に対し、**県と市が一緒になって、国に対しお願いしていきたいと回答**



■ 国土交通省(本省・中部地方整備局)への要望(R6.5)

副市長から中部地方整備局へ要望活動を行うとともに、市長から国土交通省本省へ要望活動を行い、**交通拠点である津駅周辺の道路空間再編に向けた取組の推進に支援を求めた。**

■ 令和7年度県政に対する要望(R6.8.21)

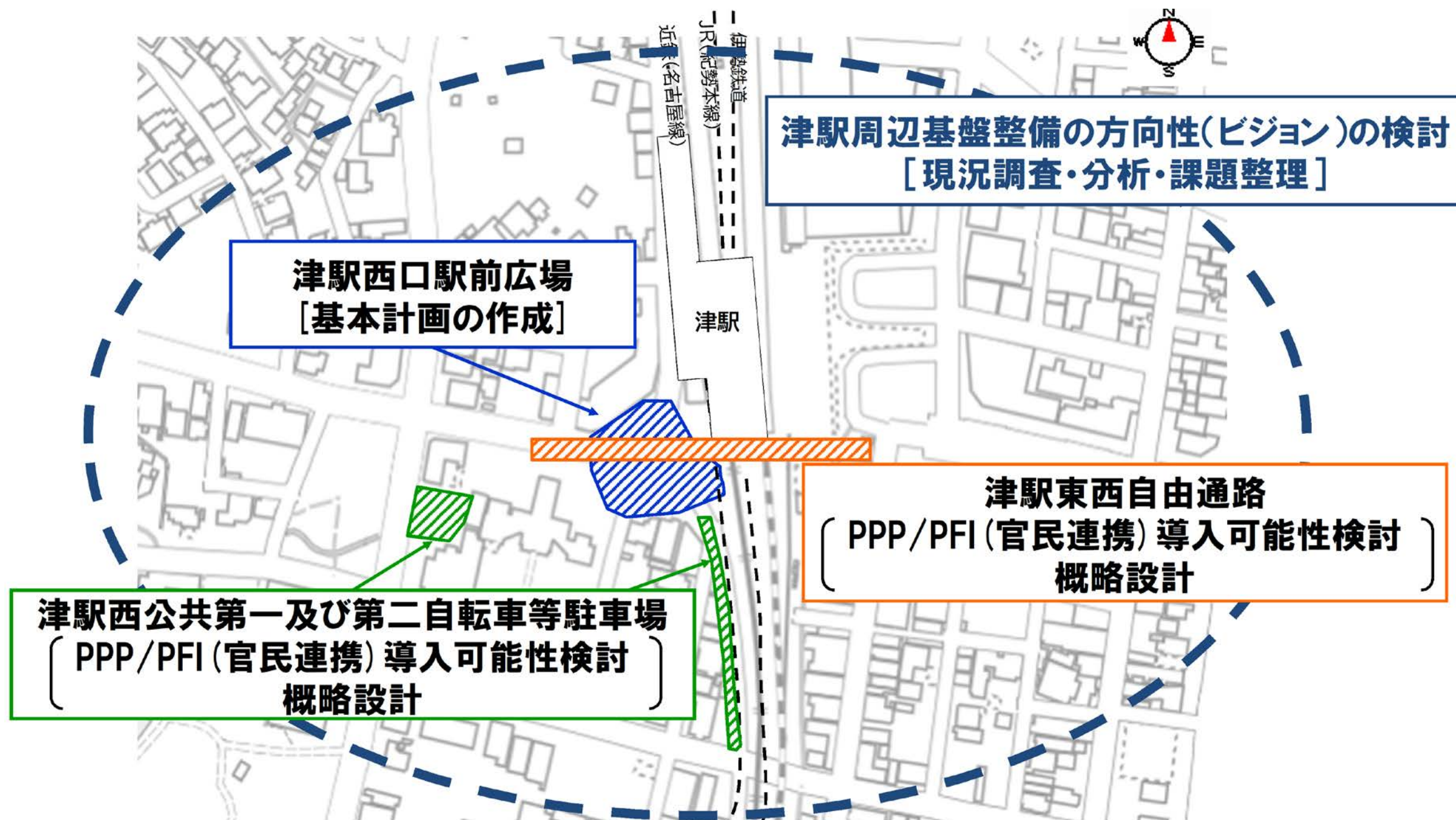
市長から知事へ直接要望する2事項のうちの1つとして、**バスタプロジェクトの事業化に向け津市と緊密な連携による国への働きかけを要望**

知事から市長に対し、**バスタプロジェクトの整備方針・事業計画に進むよう国へ申ししていきたい、市のビジョン作成に協力したいと回答**



◆津駅周辺基盤整備推進調査事業の実施

官民連携基盤整備推進調査費補助金（国土交通省国土政策局所管）を活用し、津駅周辺基盤整備に関する各種調査を実施



令和6年度の津市の取組（津駅周辺基盤整備推進調査事業）

（１）津駅西口駅前広場の基本計画の作成

『令和5年度の津駅西口駅前広場エリアマネジメント会議にて出された意見』
『津駅西口駅前広場整備イメージに対する意見募集結果』を踏まえ、必要な検討を行い、基本計画を作成

R5年度

『津駅西口駅前広場の基本方針』
『津駅西口駅前広場配置計画案』

津駅西口駅前広場エリアマネジメント会議
における駅前広場の運用ルールの検討

R6年度

津駅西口駅前広場整備イメージに対する意見募集結果
（R6.5.8～R6.6.30）

『津駅西口駅前広場基本計画』

基本計画に基づき、津駅西口駅前広場エリアマネジメント会議
において、交通の整序化を図るためのルールづくり等を進める



（２）津駅東西自由通路の「整備・運営に係るPPP/PFI導入可能性検討」及び「概略設計」

「津駅東西の歩行者交通円滑化」、「駅利用者等の利便性」、「費用」等を踏まえ、鉄道敷地上における設置箇所の比較検討を行うとともに、商業施設や賑わい創出のための施設等の導入可能性、管理運営上の収益性や事業手法の比較検討を含め検討し、概略設計を実施

R6年度

PPP/PFI導入可能性の検討

- ・鉄道敷地上における設置箇所の比較検討
- ・商業施設や賑わい創出のための施設等の導入可能性検討
- ・管理運営上の収益性や事業手法の検討

概略設計の実施

「鉄道事業者との協議」「PPP/PFI事業者募集」に向けた方針を整理

- ・概略検討図作成
- ・鳥瞰図作成
- ・概算数量、概算事業費算出



（3）津駅西公共第一及び第二自転車等駐車場の「整備・運営に係るPPP/PFI導入可能性検討」及び「概略設計」

駅利用者等の利便性向上及び賑わいの創出に資する施設等の導入に向けた施設等の導入可能性を検討するなど、管理運営上の収益性や事業手法の比較検討を含めた検討、概略設計を実施

R6年度

PPP/PFI導入可能性の検討

- ・駐輪場機能の向上
- ・駅利用者等の利便性向上
- ・商業施設や賑わい創出のための施設等の導入可能性検討

概略設計の実施

「PPP/PFI事業者募集」に向けた方針を整理

- ・概略検討図作成
- ・鳥瞰図作成
- ・概算数量、概算事業費算出



令和6年度の津市の取組（津駅周辺基盤整備推進調査事業）

（４）津駅周辺基盤整備の方向性（ビジョン）の検討

『津駅周辺道路空間の整備方針』、『国・県・市が実施した調査結果等、過去の調査結果』を踏まえ、現況調査・分析・課題整理を行ったうえで、国、県との調整を行いながら『津駅周辺基盤整備の方向性（ビジョン）』を検討

R3
～R5年度

『津駅周辺道路空間の整備方針』
（R4.3.24 国・県・市）

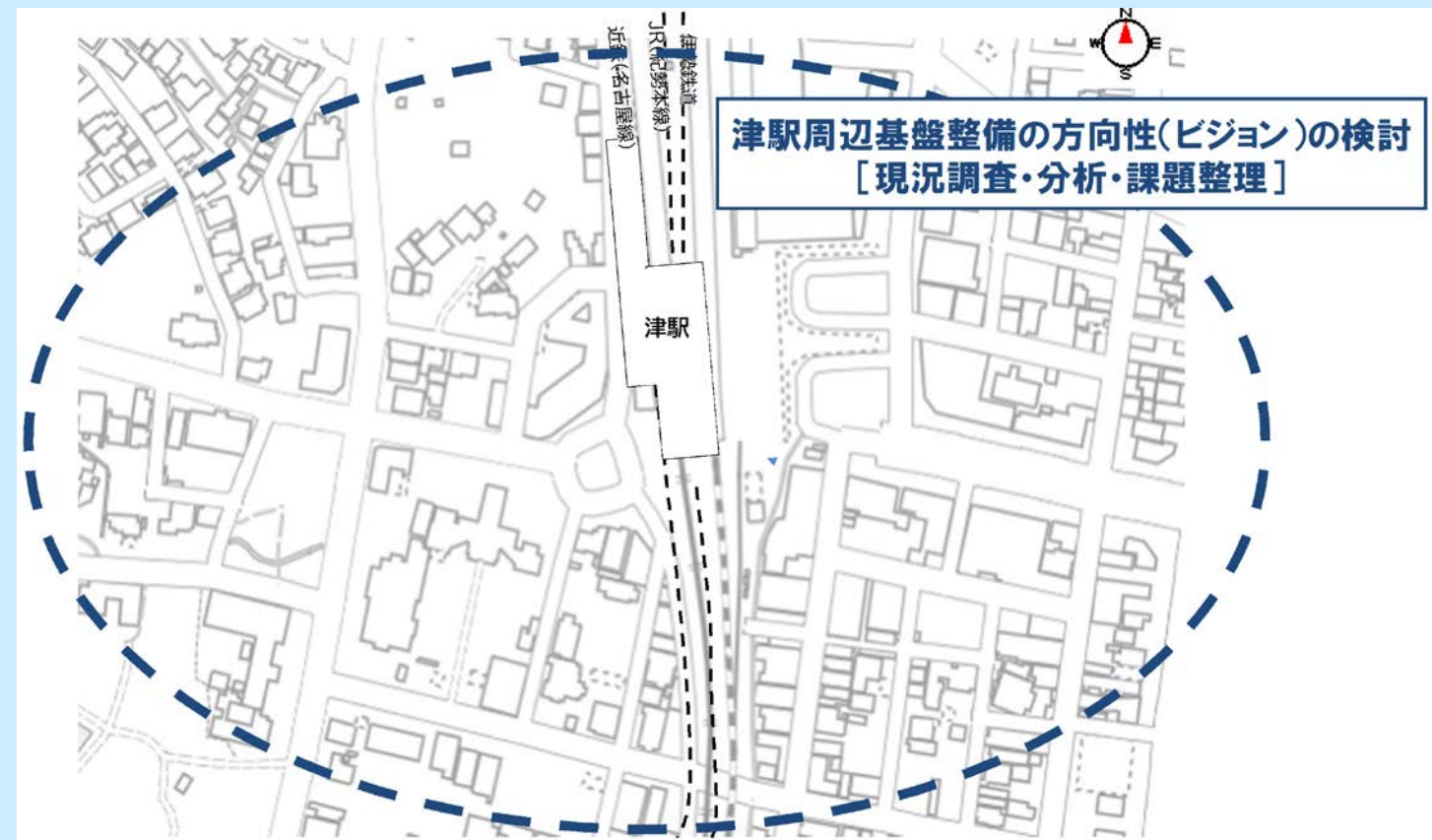
国・県・市実施の調査結果
（R3～）

R6年度

現況調査・分析・課題整理

関係機関との調整

『津駅周辺の基盤整備の
方向性（ビジョン）』



（４）津駅周辺基盤整備の方向性（ビジョン）の検討

■ ビジョンとは

津駅周辺道路空間の再編に向け、国・県・市が取り組む**基盤整備の将来像**を関係者が共有し、**連携して津駅周辺道路空間の再編に取り組むための構想**

■ ビジョンの構成イメージ(案)

【現況に基づく課題整理】

これまでの検討経緯（津市の上位計画、津駅周辺道路空間の整備方針等）を踏まえつつ、現況に基づく課題を整理

【基本理念・整備コンセプト】

二一ズを踏まえつつ、道路空間再編の基本理念、エリア別の整備コンセプト、将来像を描く

【整備方針】

エリア別のゾーニングや各エリアに**必要とされる機能**や施設の配置イメージを示す




当懇話会の意見をビジョンに反映

国の取組

交通拠点に求められる機能のうち、「車両の移動・停留等」に関する機能を検討するための基礎資料を収集するため、使われ方調査を実施

■調査概要

項目	具体項目	調査目的	調査方法	調査時期(案)	調査箇所
使われ方調査	○交通量	○津駅東口を利用しているバスやタクシー、自家用車、通過車両の交通量を把握し、ターミナルの必要規模・区域の検討材料を収集する。	○東口広場の主要箇所にビデオを設置し、交通状況を観測 	○2024年10月(通常期) ○7~24時 ※バス・タクシーのピーク時間を考慮	○津駅東口周辺 ※西口は過年度に調査済
	○交通流動	○津駅東口を利用しているバスやタクシー、自家用車、通過車両の流動を詳細に観測し、ターミナル運用上の課題を定量的かつ詳細に把握する。			

県の取組

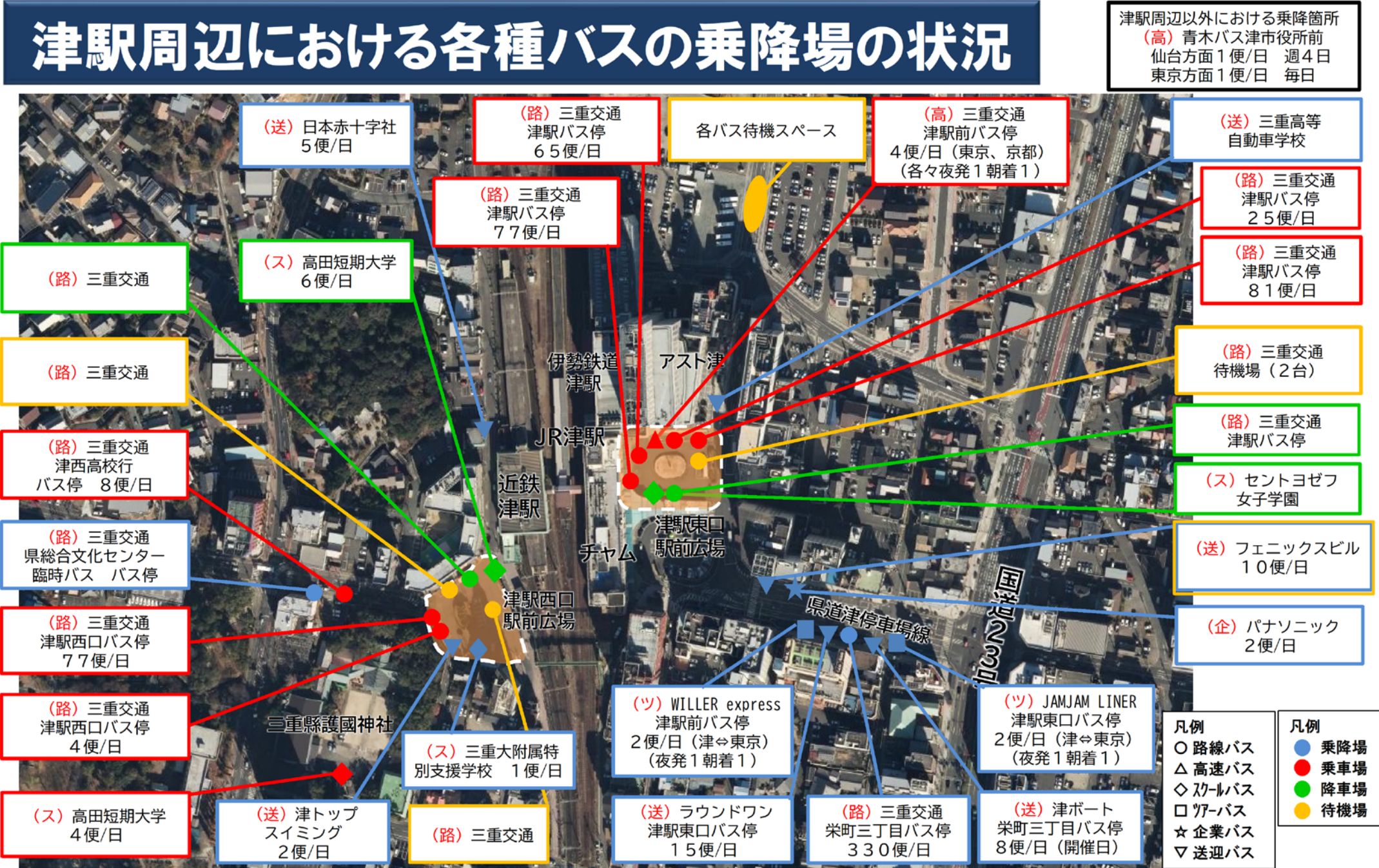
これまでの社会実験の結果を踏まえ、歩行者利便増進道路(ほこみち)の導入を見据えて、歩道空間の拡張に向けた概略検討等を実施(概略検討では、歩道空間の拡張イメージを複数案作成)



【国・県・市で進める検討①】

（ア） 点在する各種バス等の集約化に向けた検討

交通拠点の機能強化に向けて、点在する高速バス、観光バス、企業送迎バス、スクールバス等の乗降場を洗い出し、津駅東口への集約化の必要性について検討



（イ） 交通事業者へのヒアリングの実施

交通拠点の機能強化に向けて、点在する高速バス、観光バス、企業送迎バス、スクールバス等の乗降場を洗い出し、津駅東口への集約化の必要性について検討

各種バスの乗降の状況

（1）公共交通の利便性の強化 災害時の対応の強化

- ・ 交通結節機能の強化
（バス停、タクシー・自家用車乗降場の再構築）
- ・ 歩行者デッキなどの整備（東口）



<物流にも配慮>

等



津駅周辺道路空間の整備方針より抜粋

【国・県・市で進める検討②】

津駅東口駅前広場の一般車両送迎スペースの必要性検討

一般車両の専用送迎スペースが設けられておらず、送迎車両と待機車両の交錯が生じていることから、交通拠点の機能強化に向けて、一般車両の送迎スペースの必要性について検討

(1) 公共交通の利便性の強化 災害時の対応の強化

- ・ 交通結節機能の強化
(バス停、タクシー・自家用車乗降場の再構築)
- ・ 歩行者デッキなどの整備 (東口)



バスタ新宿



横浜駅

<物流にも配慮>

等

津駅周辺道路空間の整備方針より抜粋

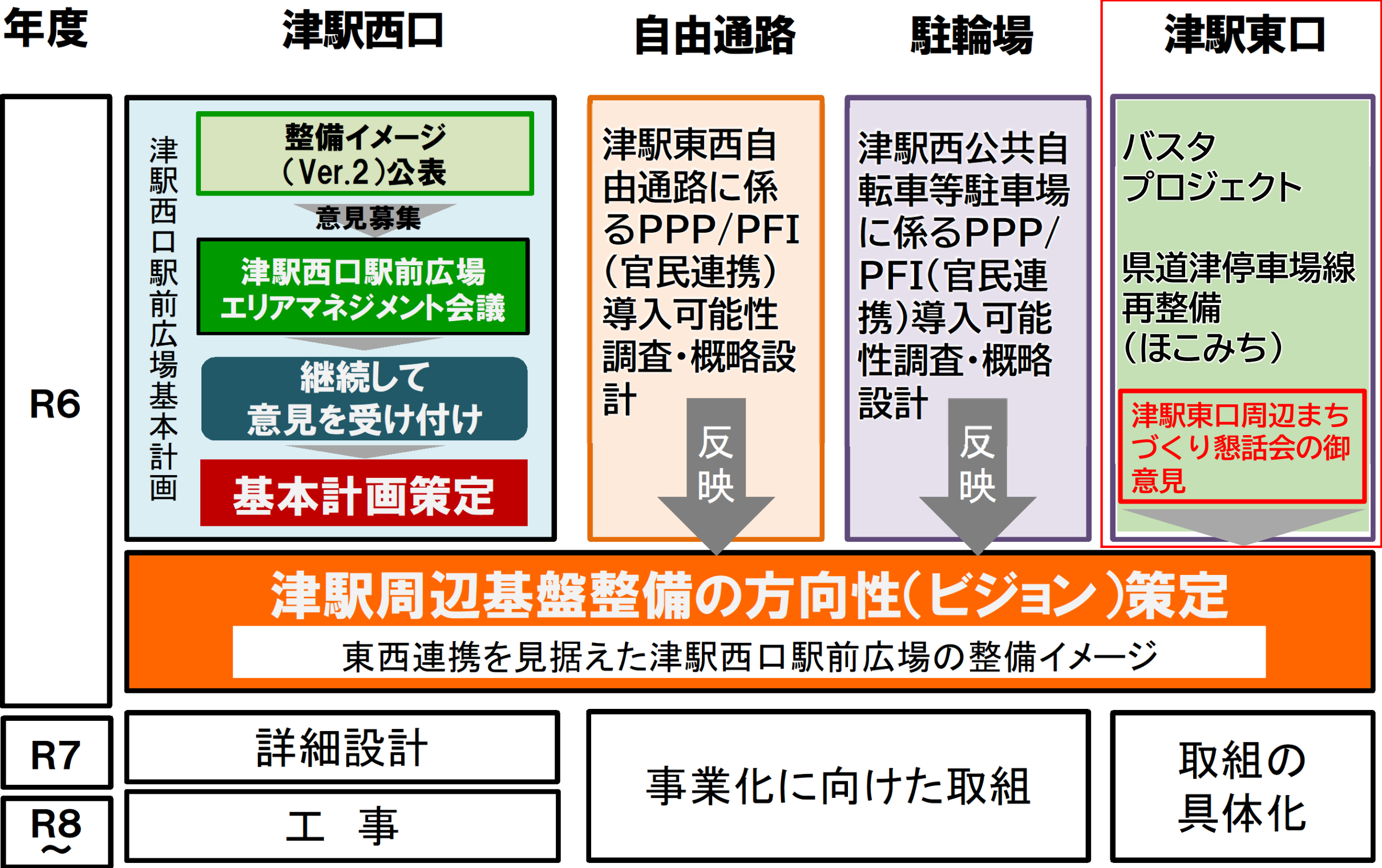
津駅東口駅前広場



国による「使われ方調査」(交通量・交通流動)などを活用

津駅周辺基盤整備の方向性(ビジョン)の策定に繋げる

津駅周辺基盤整備の進め方



津駅東口の令和6年度の取組

■ 津駅東口周辺まちづくり懇話会

【令和6年度の取組】

津駅周辺基盤整備の方向性(ビジョン)策定に向けた意見の取りまとめ

- ・賑わい創出の視点から広場空間の必要性検証や、必要な機能を検討
- ・防災の視点(避難経路、避難場所、一時避難、帰宅困難者など)から、広場空間の必要性検証や、必要な機能を検討
- ・駅周辺の回遊性強化に必要な機能を検討

(1) 公共交通の利便性の強化 災害時の対応の強化

- ・交通結節機能の強化
(バス停、タクシー・自家用車乗降場の再構築)
- ・歩行者デッキなどの整備(東口)



バスタ新宿



藤沢駅

<物流にも配慮>

等

津駅周辺道路空間の整備方針 抜粋

(4) 駅周辺の回遊性の強化

- ・ICTを活用した案内看板の設置
- ・植栽や美化活動の協働の取組
- ・街灯の充実



デジタル
サイネージ



函館駅

等

津駅周辺道路空間の整備方針 抜粋

津駅周辺道路空間再編検討委員会へ意見を伝達

賑わい 滞留空間・待ち合わせスペースについて

令和5年度社会実験アンケートにおいて、滞留空間・待ち合わせスペースが必要との意見が多数

滞留空間・待ち合わせスペースに必要とされる機能等を検討

津駅東口駅前広場への
広場やデッキの必要性を確認

(2) 歩行者の賑わいや滞留の強化

- ・ 駅前通りの歩行空間の拡張
- ・ 占用の緩和を通じた民間利用の促進



津駅周辺道路空間の整備方針より抜粋

防災 津駅東口の防災について

津駅の利用者（平均約15,000人）が帰宅困難者、避難者となる可能性

安全な避難路、避難者及び
帰宅困難者の受入機能等を検討

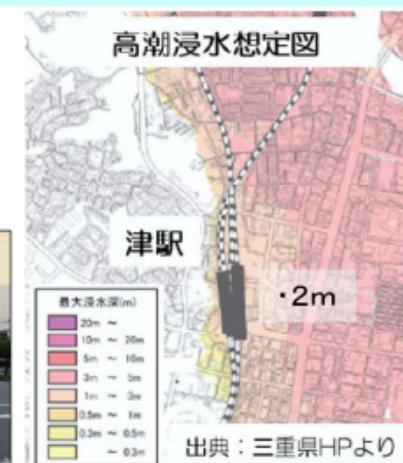
津駅東口駅前広場への
広場やデッキの必要性を確認

(2) 防災：高潮・津波で浸水する予測

高潮時に2m、津波時に1mの浸水が想定
避難場所や帰宅困難者の受入れ拠点整備、
鉄道の代替としてのバス交通の活用等の検
討が必要。

東西連絡通路が浸
水の恐れ

浸水により地下道
が利用できなくな
る可能性がある。



津駅周辺道路空間の整備方針より抜粋

第2回懇話会(12月)

◆津駅東口駅前広場に必要な機能の検討

- ①賑わい ・滞留スペース(広場空間)、県道津停車場線、栄町公園の整備
・賑わい創出に資するソフト面の取組や、民間活力創出の必要性
- ②防災 ・帰宅困難者等の一時滞在スペース(広場空間)
・西口方面に容易に避難できる東西自由通路の整備
・災害時の鉄道運行見合わせに伴うバス代替輸送に対応する施設整備
・災害時のライフライン確保・情報提供の仕組み(太陽光発電、デジタルサイネージ等)
- ③回遊性 ・回遊性を高める東西自由通路・歩行者デッキによる賑わい創出 等

◆懇話会委員へのアンケートの実施

津駅周辺基盤整備の方向性(ビジョン)策定に向けた委員意見の集約

津駅周辺基盤整備の方向性(ビジョン)へ反映

第3回懇話会(2月) 意見取りまとめ

津駅周辺道路空間再編検討委員会へ意見を伝達